



2025年が明けたかと思えば、あっという間に2月に突入。1月は何か慌ただしく過ぎていったような気がしています。年長の子どもたちは卒園まであと2ヶ月となり、どんぐり保育園で過ごせる時間もあと少し…と感じるようになってきたのではないのでしょうか。だからこそ、一日一日を今まで以上に大切に過ごしていきたいと思います。

くすのき保育園との交流

くすのき保育園の年長・年中さんたちが、どんぐり保育園に来て交流を行いました。今年2回目の交流ということもあり、前回顔を合わせて覚えている子がいたり、前回よりも緊張がほぐれた様子の子もたちでした。今回は年長さんはドッジボール対決、年中さんはリズム交流、最後は異年齢グループでリレー対決を楽しみました。子どもたちは同年代の仲間との交流の中でたくさんの刺激をもらっていました。子どもたちが育ちあえる関係づくりとして、今後も交流を続けていきたいと思います。

あそぼーる体験

日本ソフトボール協会（浜松支部）の方々“あそぼーる”と題して、ボールを使った遊びをしました。この日は特別に実業団チーム（NEC）のソフトボール選手も来園して、ボール運びリレーから始まり、ボールの投げ方やバットの打ち方などを一緒に教えてくれました。普段何気なく遊んでいるボール遊びも、しっかりとした投げ方を教えてもらうことで、遠くに投げる面白さを知ったり、道具を使って遊ぶことでさらにボール遊びの楽しさを感じている様子の子もたちでした。

最後には選手が実際に投げたり、打ったりする様子も見せてもらい、子どもたちにとってはまた新しい刺激をもらう、いい経験となりました。協会の方からはボールとバットをいただきました。今では幼児の子どもたちを中心に毎日事務所に「ボールかしてくださーい」「バットかしてくださーい」と繰り返しボール遊びを楽しんでいます。来年も継続して来てくれることになりました。お楽しみに。



6年ぶりのもちつき大会

今年こそはみんなでやりたい！と待ちに待っていたもちつき大会。感染症などが心配される時期ではありましたが、6年ぶりに保護者会として開催することができました。久しぶりの開催なので、実行委員の中でも、実際にもちつき大会を経験した人は僅かであり、当日はバタバタすることも予想していました。しかし、6年ぶりとは思えないほど、スムーズに進み、皆さんが協力し合う姿に感動しました。大盛況のもちつき大会でした。餅つきは餅をつくだけではなく、まずは米を蒸すことから始まり、こねる、つく、丸めるといったように様々な行程があり、そこには複数の人の手が必要です。この行程をしていく中で、声を掛け合ったり、特に餅をつくときは相手と息を合わせ、共同作業をしていくことが必須です。

今年はどのクラスの餅つきも保護者の方々が声を掛け合い、協力し合って、盛り上げてくださっている姿がとても素敵でした。周りにいる子どもたちや大人のみなさんから笑みがこぼれ、とてもいい時間になっていると感じ、嬉しくなりました。これからも保育園ではもちつきの文化を絶やさず、今後も子どもたち、保護者のつながりを深める行事として続けていきたいと思いました。三役の方々をはじめ、実行委員会のみなさん、開催に向けての事前の準備や当日の進行等をありがとうございました。